

使用前にこの説明書を必ずお読みください。
また、必要な時に読めるよう保管してください。

お子さまの急な発熱に

こどもパブロン坐薬

第2類医薬品

〈解熱薬〉

- ◆こどもの病気は発熱から始まるといわれるほど、もっとも一般的な症状です。
しかし、体力の消耗などをまねくおそれがあるので、熱を下げるのが大切です。
- ◆こどもパブロン坐薬は、お子さまの急な発熱を効果的に下げるお薬です。



使用上の注意

本剤は小児用ですが、解熱薬として定められた一般的な注意事項を記載しています。



してはいけないこと

必ず読むこと!



(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなります)

① 次の人は使用しないでください

- (1) 本剤によるアレルギー症状を起こしたことがある人。
- (2) 本剤又は他の解熱鎮痛薬、かぜ薬を使用してぜんそくを起こしたことがある人。

② 本剤を使用している間は、次のいずれの医薬品も使用しないでください

他の解熱鎮痛薬、かぜ薬、鎮静薬

③ 使用時は飲酒しないでください

④ 長期連用しないでください



相談すること



① 次の人は使用前に医師、歯科医師又は薬剤師に相談してください

- (1) 医師又は歯科医師の治療を受けている人。
- (2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。
- (3) 高齢者及び虚弱者。
- (4) 本人又は家族がアレルギー体質の人。
- (5) 薬によりアレルギー症状を起こしたことがある人。
- (6) 次の診断を受けた人。

心臓病、腎臓病、肝臓病、胃・十二指腸潰瘍

② 次の場合は、直ちに使用を中止し、この説明書を持って医師、歯科医師又は薬剤師に相談してください

- (1) 使用後、次の症状があらわれた場合。

関係部位	症 状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ
消化器	悪心・嘔吐、食欲不振
精神神経系	めまい
その他	下痢、軟便、便秘

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。
その場合は直ちに医師の診療を受けてください。

症状の名称	症 状
ショック (アナフィラキシー)	使用後すぐにじんましん、浮腫、胸苦しさ等とともに、顔色が青白くなり、手足が冷たくなり、冷や汗、息苦しさ等があらわれる。
皮膚粘膜眼症候群 (スティーブンス・ジョンソン症候群)、 中毒性表皮壊死症 (ライエル症候群)	高熱を伴って、発疹・発赤、火傷様の水ぶくれ等の激しい症状が、全身の皮膚、口や目の粘膜にあらわれる。
肝機能障害	全身のだるさ、黄疸(皮膚や白目が黄色くなる)等があらわれる。
ぜんそく	

- (2) 1回使用しても再度発熱した場合。

効 能

小児の発熱時の一時的な解熱

こんな時の発熱に



夜の急な発熱



食欲がない時



吐きやすい時



薬がのめない時

用法・用量

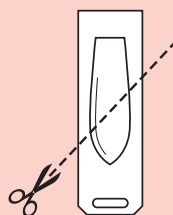
次の量を肛門内に挿入してください。

[注意]

年齢	6～12才	3～5才	1～2才	1才未満
1回量	1～2個 	1個 	1/2～1個 	使用しない こと
使用回数	1日1回			

- (1) 定められた用法・用量を厳守してください。
- (2) 小児に使用させる場合には、保護者の指導監督のもとに使用させてください。
- (3) 本剤は、2日続けて使用しないでください。
- (4) 本剤は肛門にのみ使用し、内服しないでください。

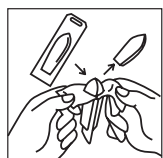
1/2個の作り方



上の図を目安に
カッター・はさ
み等でななめに
切ります。

坐薬の上手な使い方

坐薬は、なるべく排便を済ませてから使いましょう。



先のとがった方から
開いてください。



膝の上に腹ばいにして、
お尻の奥まで差しこみます。



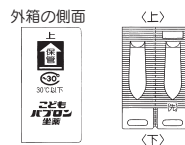
体は温かくし頭を冷やして、
しばらく様子を見てあげてください。

成 分

1個(1g)中 アセトアミノフェン 100mg
添加物：ハードファット

保管及び取扱い上の注意

- (1) 直射日光の当たらない湿気の少ない30℃以下の涼しい所に保管してください。
- (2) 小児の手のとどかない所に保管してください。
- (3) 他の容器に入れかえないでください。(誤用の原因になったり品質が変わることがあります)
- (4) 右図のように坐薬の先を下に向けて外箱に入れ、外箱のマークに従って立てて保管してください。
- (5) 使用期限を過ぎた製品は使用しないでください。なお、使用期限内であっても、開封後はなるべくはやく使用してください。(品質保持のため)



本品についてのお問い合わせは、お買い求めのお店、又は下記にお願いいたします。

連絡先 大正製薬株式会社 お客様119番室
電話 03-3985-1800
受付時間 8:30～21:00(土、日、祝日を除く)



製造販売元

大正製薬株式会社
東京都豊島区高田3丁目24番1号
<http://www.taisho.co.jp>



アボット ジャパン株式会社 提携

副作用被害救済制度のお問い合わせ先

(独)医薬品医療機器総合機構 <http://www.pmda.go.jp/kenkouhigai.html>

電話：0120-149-931(フリーダイヤル) 03-3506-9411(携帯・公衆電話からの利用)